

## 論述ブースト No.4

データ読解論述—— グラフ・表から「何が言えるか」を論証する

## 導入文

医学部・理系の入試で増えているのが「グラフや表を読んで論述する」形式だ。しかし「グラフを見て感じたことを書く」だけでは失点する。大学の科学的論文読解の作法を使い、「データから何が言えて、何が言えないか」を区別して論述する力を育てる。

## 講義概要

データ読解論述を「グラフの説明」から「データを根拠にした論証」へ転換する。観察事実・解釈・推論の区別、相関と因果の違い、外挿の限界といった大学の研究リテラシーを高校生向けに翻訳し、データ論述問題で減点されない答案構造を体系化する。

**授業目標：**データ論述を「見たものを書く」から「根拠と限界を区別した論証」へ引き上げる。

**対象者：**高2～高3・浪人生の理系志望者。医学部・生命科学系の推薦・総合型選抜でデータ読解論述が課される生徒、または二次試験で実験考察問題がある生徒。

**授業時間：**授業90分+演習・質疑応答30分

**到達目標：**観察・解釈・推論を区別して書ける／相関と因果の違いを説明できる／「言えること・言えないこと」を答案に書ける

## 授業構成 (90分) + 演習・質疑応答 (30分)

**授業90分：**1 導入：「グラフを見て何でも書いてしまう」答案の失点例を提示 2 概念導入：観察事実・解釈・推論の3層を整理 3 核心：相関と因果の違いを具体例で徹底整理 4 限界の言語化：「このデータからは言えないこと」の書き方 5 演習：医学・生命科学系のグラフ論述問題を処理 6 まとめ：答案の骨格（事実→解釈→限界）を固定

**追加30分：**グラフ論述問題2題を骨格に沿って書く演習を行い、「言えること・言えないこと」の線引きについて質疑応答を行う。

**板書・スライド骨子：**観察・解釈・推論の3層／相関と因果の違い／外挿の限界／論述骨格テンプレート

**課題：**グラフ付きの論述問題1題を、「事実→解釈→言えないこと」の順で200字にまとめる。

**備考：**高校・予備校の先生方／編入学試験および大学院受験への橋渡しの基礎確認をしたい方にも対応。